

新共同訳聖書「ローマの信徒への手紙 12 章 20 節」の「そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。」とはどのような意味でしょうか。

わかっているようでいて、しかし、やや解釈の分かれる箇所ですね。

新共同訳聖書「ローマの信徒への手紙 12 章 20 節」全体は以下の通りです。

「あなたの敵が飢えていたら食べさせ、渴いていたら飲ませよ。そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。」

ネストレ・アーラント 27 版のギリシャ語新約聖書では、

" ἀλλὰ ἐὰν πεινᾷ ὁ ἐχθρὸς σου, ψάμιζε αὐτόν· ἐὰν διψᾷ, πότιζε αὐτόν· τοῦτο γὰρ ποιῶν ἄνθρακας πυρὸς σωρεύσεις ἐπὶ τὴν κεφαλὴν αὐτοῦ. "

直訳すると、「このようにすることにより、火の炭を彼の頭の上に積み上げることになるでしょう」とあり、KJV(ジェームズ王欽定訳)でも以下の通り、原文と同義に訳しています。

"Therefore if thine enemy hunger, feed him; if he thirst, give him drink: for in so doing thou shalt heap coals of fire on his head "

KJV(ジェームズ王欽定訳)や多くの英語訳聖書、日本語の口語訳聖書、同新改訳聖書でも、同じ意味に訳しています。

「むしろ、「もしあなたの敵が飢えるなら、彼に食べさせ、かわくなら、彼に飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃えさかる炭火を積むことになるのである」。口語訳

「もしあなたの敵が飢えたなら、彼に食べさせなさい。渴いたなら、飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃える炭火を積むことになるのです。」新改訳

しかし、意識(動的等価訳)を中心としたグッドニュース・バイブル--Good News Bible (Today's English Version)では大変わかりやすく訳しており、意味が明瞭です。

Instead, as the scripture says: "If your enemies are hungry, feed them; if they are thirsty, give them a drink; for by doing this you will make them burn with shame."

すなわち、「恥で燃やす。つまり、自分の不明を恥じて、真っ赤になる」と意識しており、同じく意識のニューリビング訳 (New Living Translation) でも

Instead, "If your enemies are hungry, feed them. If they are thirsty, give them something to drink. In doing this, you will heap burning coals of shame on their heads."

すなわち、「恥の炭火を頭に載せる、」と訳しており、大変わかりやすくなっています。

さらに、英国の聖書者ジェームズ・モファット (James Moffat--1870-1944) の個人訳では、より具体的に、以下のように意識しています。

• • • for in this way you will make him feel a burning sense of shame.

「かくしてあなたは彼を強烈な羞恥の念を感じさせることになるでしょう。」

以上、いくつかの訳例をご紹介しましたが、このように一見わかったようで、わかりにくい聖書の箇所は原文を吟味するとともに、広く世間に受け入れられた定評のある意識というツールを用いて意味を推測することも、あるいは有効かもしれませんね。

以上